

# 生中通心

平成28年5月9日(月)

生駒市立生駒中学校

文責 校長 藤原康成

「口蓋垂」自分の知らないところで人は支えられ、生かされています。

ゴールデンウィークも終わり、本格的な学校生活が始まります。気持ちを引き締めて一日一日を大切にしていきましょう。

4月14日、静かな町を一瞬にして凍らせてしまった熊本、大分を中心に起こった地震により、多くの方々の尊い命が奪われ3週間以上経った今も避難所や車中で過す方々の生活が続いています。熊本市内の小中学校も避難所として多くの方が避難生活を送られています。飲み水の確保、トイレの設置、お風呂の供給、様々な救援物資の配給などが進んでいるものの不自由をされている現状は変わらず。日常は「あたりまえ」の行為や出来事がとてつもなくありがたいことなんだとあらためて考えさせられます。

ある一人の高校生が、自身も被災者でありながら友人と共に炊き出しや救援物資の配給などのボランティアをしている姿が映像で紹介されていました。「今、自分に出来ることをやりたい。」それが理由です。「何か困ったことはないですか。」笑顔でお年寄りの耳元で語りかける。雨が降れば通路が濡れてお年寄りが滑らないようにと、懸命に雑巾で床を拭いている姿は言葉にならないほど輝いていました。(本人が気づいて自主的にやったようです。)

起こったことはとても辛くて悲しい出来事ですが、とても素敵な高校生の姿に出逢えました。

今回、生徒会のみんなを中心に「災害義援金」の募金活動を進めてくれました。朝早くから校門での呼びかけを行い、多くの生徒のみんなの善意が 30、440円集まりました。生駒市の担当課を通して被災地に贈られます。協力いただいたみなさんの温かい心と共に被災地に届けられるといいですね。本当に協力ありがとうございました。(PTA や保護者、先生方からもご協力いただきました。)

そして、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りし、一日も早くもとの生活へともどれるとることを心より願っております。(熊本市内の多くの小中学校が今日から授業が再開されるようです。よかったです。)

## 【心を磨くトイレ掃除】その1

### ☆謙虚な人になれる

どんな才能があっても、傲慢な人は人を幸せにすることはできない。

人間の第一条件は、まず、謙虚であること。

謙虚になるための確実で一番の近道が、トイレ掃除です。

一度、お家のトイレ掃除(お風呂掃除)をやってみよう。

一度できたら、週に一回続けてみよう。

## 【保護者の皆様へ】

4月21日（木）からスタートした家庭訪問ではご準備等、本当にありがとうございました。子どもたちの家庭や地域での様子や保護者の方々の願いや思いを共有できる時間となりました。思春期の子どもたちを目の前にしたとき、思わず感激することや喜びの瞬間があると想えば、一方で悩んだり、驚かされることも度々訪れます。いくら時代は変わったとはいえ、昔、私たちも通ってきた道です。必ず答えは見つかります。

子どもたちは自分を本気で愛してくれる人、本気で叱ってくれる人を大切にします。私たちがそう感じて今があるように。大切なことは、「ガンバリはしっかり褒めてあげること。間違ったときはブレないでしっかり叱ってあげること」です。そうして、子どもたちは、自分の中にブレーキとアクセル、そしてハンドルの使い方を身に付けていきます。自分をコントロールする運転技術も身に付いてきます。そして、大人としての免許証明を獲得します。これが自立（自律）へとつながっていきます。

家族や周りの大人が、この一つの目標に向かって、みんなで子育てをしてきた時代の良いところを見つめ直していきたいものです。

子どもたちの良いこともそうでないことも一緒に考え一つ一つハードルを超えていきたいものです。

子どもの「心の根っこ」が育てばきっと芯が真っ直ぐに通った大人になっていきます。そこにまぎれもない『本物の学力、本物の体力、本物の心力』が生まれます。心のたくましさは人を想う心の深い温かさにもつながります。



やっぱり、私たち大人が本気になって、子どもたちと向き合うこと大事ですね。私も中二の息子と今一度、しっかり向き合ってみようと思います。まずは一緒に居る時間をつくること、一言でもいいからゆっくり話を聴いてやろうと思います。

（こちらが一方向的にしゃべってしまうのだけはやめて、ちょっとがまんしてみます。）

\* 5月12日（木）中間考査一週間前（部活動休止）

\* 5月19日（木）中間考査1日目（給食なし：昼食の準備お願いします）

\* 5月20日（金）中間考査2日目（給食あり：部活動再開）

\* 5月25日（水）～27日（金）3年修学旅行（関東方面）1年：耳鼻科検診

\* 5月27日（金）1年生校外学習（明日香方面）

2年生校外学習（京都方面）

—追伸—

◇「お願い」修学旅行・校外学習では、思いっきり楽しみ、なかまとの体験や経験を通して、新しい発見を「3つ以上獲得」してきてください。また、聴かせてくださいね。

本日は、授業参観、進路説明会（修学旅行説明会）ならびに平成28年度PTA総会にお集まりいただき誠にありがとうございます。

平素は本校教育活動にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

学校は「子どもたちが主人公として、一人一人が輝くところ、可能性を引き出すところ」です。そして、様々な出逢いや体験を通して、夢を持ち、夢を語り、夢の実現に向けてなかまと共に自らの進路を切り開き、しなやかでたくましく生き抜く力を身に付けさせることが重要です。

私たち大人は、子どもたちの一生を見届けることはできません。社会に出て行くまでにどうしても「ほんものの生きる力」を育てておかななくてはなりません。そのためにも、社会の厳しさや現実、自分の持つ可能性は無限であること、そして多くの愛に包まれていること、そして、自分を大切にできる大人に成長できるようサポートしていきたいと考えております。

＊詩を紹介いたします。

4歳になったばかりのチイちゃんに弟はできました。  
赤ちゃんが泣き出すと、あやしたり話しかけたりしてくれます。  
弟の面倒をよく見てくれる、いいお姉ちゃんです。  
ママはいつも赤ちゃんのお世話でたいへんです。  
チイちゃんもママに甘えたいけれど我慢しています。  
チイちゃんがママに「ちょっとだけ抱っこして」といいました。  
そのときママは笑って「〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。」  
と言って、チイちゃんをやさしく抱っこしました。  
チイちゃんは笑顔いっぱいです。  
チイちゃんはそれからも弟となかよく遊んでいます。



心を揺さぶるその一言で、年齢には関係なく人はほんものの愛情を感じます。子どもたちの心を輝かせます。そんな、「AIの一言」しあわせのシャワーを浴びた子どもは人を幸せにすることに喜びや感動を覚えます。

校長 藤原康成